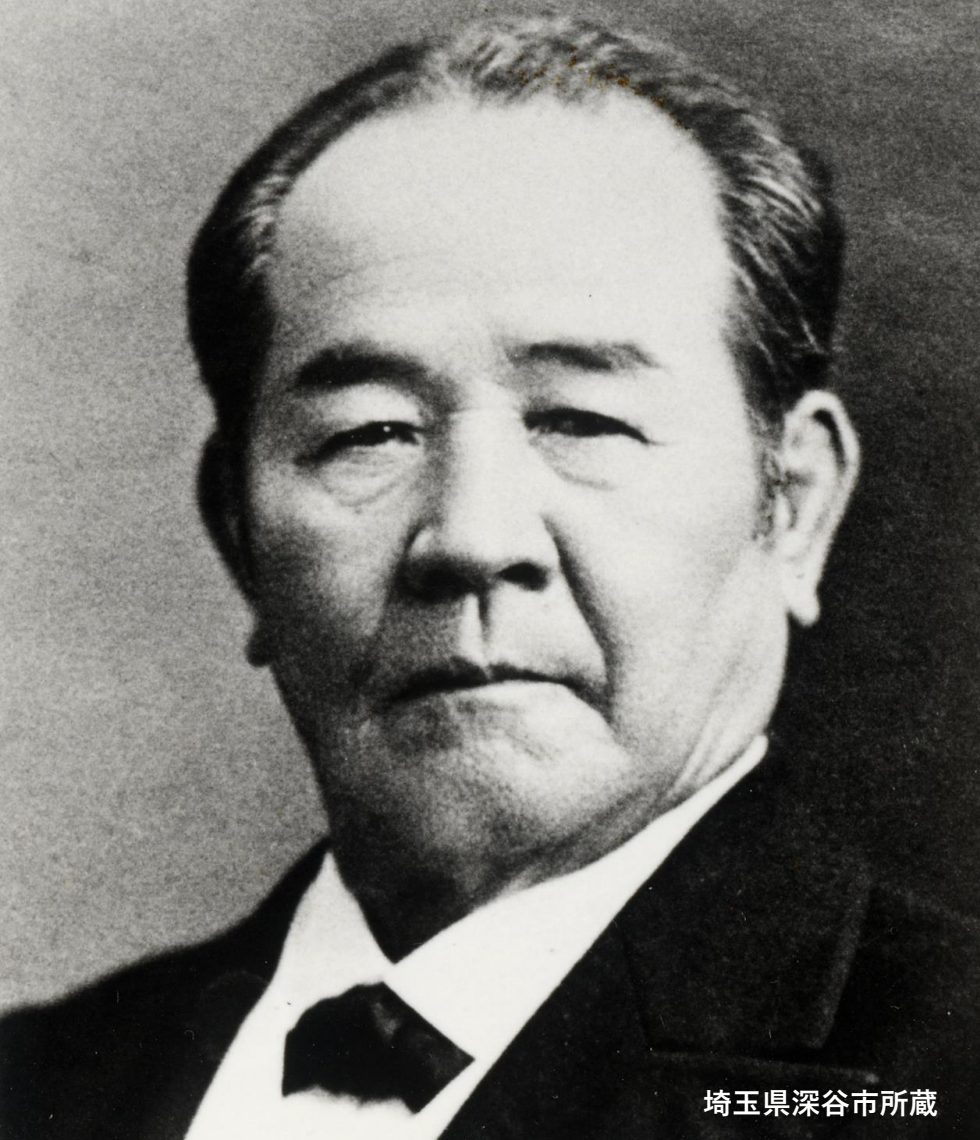


第5回セカイト講演会

近代産業の育成と

渋沢栄一



埼玉県深谷市所蔵

日時

令和6年6月8日(土)
13:00~16:30(受付は12:30~)

会場

伊勢崎市民プラザ ホール
(〒372-0833 伊勢崎市富塚町220-13)

定員

200名(無料・要事前申込)

内容

第一部 基調講演

「渋沢栄一による近代日本経済社会の創出」

井上 潤 氏 (渋沢史料館顧問)

第二部

個別講演①「改良座繰製糸の発展 -上毛繭糸改良会社の理想と現実-」

松浦 利隆 氏 (TICCIH(国際産業遺産保存委員会)日本代表)

個別講演②「売込商体制下の器械製糸 -製糸金融による選別と拡大-」

石井 寛治 氏 (東京大学名誉教授)

パネルディスカッション (パネリスト: 井上潤氏・松浦利隆氏・石井寛治氏)

近代産業の育成と渋沢栄一

明治維新政府の渋沢栄一ら経済官僚が、外国資本への依存・従属に陥ることなくアジア最初の産業革命を成功させたのは、どうしてなのか。そこでの日本官僚の役割は、民間人の活動とどのような関係に立っていたのか。群馬県の世界遺産『富岡製糸場と絹産業遺産群』登録10周年の節目の年に、近代日本の経済的独立を守りながらの近代産業の育成という難問に、われわれの先祖が如何に果敢かつ慎重に取り組んだかを改めて考える。

講師プロフィール

井上 潤 氏 渋沢史料館顧問



明治大学文学部史学地理学科日本史学専攻卒業。渋沢史料館の学芸員となり、学芸部長、副館長、館長を経て、顧問となり今日に至る。この間、国立民族学博物館共同研究員、神奈川大学日本常民文化研究所客員研究員等も歴任。現在、(公財)渋沢栄一記念財団業務執行理事を兼務するほか(公財)埼玉学生誘掖会評議員、(公財)北区文化振興財団評議員等も務める。主な著書に、『渋沢栄一—近代日本社会の創造者(日本史リブレット人)』(山川出版社、2012年)、『渋沢栄一—道理に欠けず、正義に外れず』(ミネルヴァ書房、2020年)など。

松浦 利隆 氏 TICCIH (国際産業遺産保存委員会) 日本代表



筑波大学比較文化学類卒業、同修士課程教育研究科修了、総合研究大学院大学文化科学研究科後期博士課程修了。群馬県立富岡高等学校、同前橋高等学校教諭、群馬県教育委員会文化財保護課専門員、群馬県立歴史博物館主幹指導主事、群馬県企画部世界遺産推進課長、群馬県立女子大学群馬学センター教授等を経て、現在、TICCIH(国際産業遺産保存委員会)日本代表。専門は日本近代史、産業考古学。群馬県世界遺産専門委員会委員、国際記念物遺跡会議(ICOMOS)日本委員会会員。主な著書に『在来技術改良の支えた近代化-富岡製糸場のパラドックスを超えて』(岩田書院、2006年)など。

石井 寛治 氏 東京大学名誉教授



東京大学経済学部経済学科卒業、同大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。経済学博士(東京大学)。東京大学経済学部助手、同助教授、同教授、東京大学経済学部長、東京経済大学経営学部教授を歴任。現在、東京大学名誉教授、日本学士院会員、群馬県立世界遺産センター初代名誉顧問。専門は日本近代経済史。主な著書に『日本蚕糸業史分析』(東京大学出版会、1972)、『近代日本とイギリス資本』(同前、1984)、『資本主義日本の地域構造』(同前、2018)『日本蚕糸業史再考』(同前、2023)など。

会場周辺マップ



申込方法

①②③のいずれかの方法で6月6日(木)までにお申込みください。参加人数は、申込み1件につき4名までです。

①ぐんま電子申請受付システム

世界遺産センターホームページまたは右のQRコードからお申込みください。

②メール

下記メールアドレスに「氏名」「電話番号」「人数」を明記して送信してください。

E-mail: sekaiisan@pref.gunma.lg.jp

③ファクス

下記番号宛に「氏名」「電話番号」「人数」を明記して送信してください。

FAX: 0274-67-7822



- 関越自動車道・本庄児玉ICよりお車で約20分
- 伊勢崎駅・本庄駅(北口)より十王バスにて市民プラザ北で下車、徒歩約3分